

ある色即ち赤、黄、鳶色などにするのが最も必要だ、それに床も今日では不必要なものと思ふ、又活花も在來の様に單に床にのみ据ゑるならば今迄の如く平面的で好いがテーブルの上に据ゑて四方から見るとしては所謂流派ものは不適當である、これには其の花瓶を粗立て、居る線に調和を取ればそれで可いので別に枝を矯め葉を栽る必要はない

▲以上の事に注意すれば略は大體の調和は取れるが借それからは愛嬌だ、それには花を用ゆるのが面白いが其の用ひ方は室全體が沈んだ調子の時は最も眼につく色の花を据ゑて中心點とし複雑な調子の室には白黄等を持つて來るのが最も愛嬌のあるものだ。

▲兎に角私には、在來の建築や裝飾法を全然打破しなければ眞に進歩した理想的な室内裝飾は出來ないと云ふ意見だから今迄話した事は決して十分に思ふ事を云つた譯ではない、只在來のものより稍や進んだ所だと思つて貰ひたい。

## 智力の發達を圖る事

光藤夫人

二四

極幼少な子女に向つて、智識を無理に收得させる必要はありませぬが、段々長ずるに連れて、子供が不審を起して質問を出す時には、よく確實に之を解決してやる事が大事で御座います。マー春の閑静な時などに、子供を野原につれ出しますと、ソレハンソレハ大騒ぎで、ア、アソコの花は何と言ひますか、アソコを飛んで居る鳥は何で御座いますか、……アノ草はアノ木はとすべて目新しく見えるもの、一として子供の不審の種でないものはありありません。子供の喜びの種でないものはありません。ア、大切なるは此時ではありますまいか。

世の母と呼べる、方は、此時如何なる態度で子供に接せられますか、如何なる言葉で子供の不審を解決されますか、私は其實況を承りたいと思ふので御座います。

私の推量では多数の母様がソナナものは何か分りませんと一方面倒臭いとは云ぬばかりの答の下に、ズンズン自らの慰藉に耽られる様な事はないかしらと存じます。無論眞に不明の母なれば其答もいたし方なき事ながら、相當な教育あり智識を有して居られる立派な母様が、かゝる不親切なる答をして、子供の智力の發展するのを害しては如何にも不似合の事と存じます。

私の狭き経験によりますと、こんな不文不才な私でもマ一學校などへ出まして子供を教へる位は何んでも御座いませんが、さて家庭に入つて實際自己の子供を愛育する中に、實に痛切に感ずるの、自己の學力の淺薄にして、普通智識の缺乏する事でありませぬ。子供に虫の名を聞かれても、満足な答を與へる事が出来ませぬ、星の事を聞かれても、月の事を聞かれても、太陽の事を聞かれても、花の名を聞かれても、常に不満足な答をする事が多いので、衷心耻しさに堪へませぬ。世には私如き文盲ばかりではありませぬ、づいぶんと賢明な母君の下にヌラスラと身體の長すると共

に智力ののぼる人も御座いませぬが、又私如き不明の母の下に、其智力の發展を妨げて、小にしては個人の發展を妨げらるゝと同時に、少し大にしては一家の發展の邪魔をなし、更に大にしては國の發展を沮害せらるゝ方もあらうと存じます。瓜の蔓に茄子はならぬ、ア、子供の不審を解決するにさへ苦む程の母親で何で立派な子が得られませうか。賢明なるしかも子供に親切なる、行届きたる母親ありてこそ子供は何の苦もなく發育するので御座います。サーソーいたしますと、どうしても母親といふ責任を負へるものは自己過去の不遇は言ふも及ばじ今日より今より一家を經營せる遑なき身の中より時間を見出して、たとへ一日中一時間たりとも、二時間たりとも、新聞雜誌其他保育に關する事柄を研究して、我子の發展上に資さなければならぬ事と存じます。よい稻實を得んと思へば、よい種を播かなければなりませんと同じに、よい子を得て一家の繁榮を圖らんに其の種となるべき母の智徳をすゝめなければなりません。徒らに臺所にのみ引込んで、其日く

の障りなければよいと、甘んじて居るべきではあるまいと存じます。

回顧すれば私の専ら家庭の人となりてより此處に一年有半、未だかつて子供と寢食を別にした事は御座いません。毎日毎日雨が降らうが、雪が降らうが日が照らうが此の愛兒とはなれた事は御座いません。たといやむなき用事の爲めに外出する時でも、全く子供を連れないう事には御座いません。況して散歩及植物園とか名高き人の庭園とかに至る毎に、五兒は或は脊に或は手をひき、ゾロゾロと皆連れ出します。其の時子供の得意と喜びは大變で御座います。見るもの皆珍らしく極幼少なるはまわらぬ口で何か指しては私に答を求めます。大きな子は牛を見ても、犬を見ても、馬を見ても珍らしく、アレハ何、アレハ何とよく聞きたがりませす。ア一此時か最も大切な智識の根を植る付ける時機では御座いますまいか。其の時私の不明はよく子供に失望を與へる事多いのを残念に思ひます。

した一纏めなお話で御座いますが今之を具體的に少し詳細に申述べませう。

生れてより學齡までの幼兒を家庭で愛育する其の傍、智力も授けるといふのが主眼で御座います。ら、そんな學校見た様な規則正しい時間とか規定は無論御座いません。幼稚園時代の子にはそれ相當マ、幼稚園の向一層幼稚な位な考へでやるので御座いますが、時間も決定してやるわけでは御座いませんがマア次の様に案を立ててやります。

- 一、唱歌
- 二、遊戯
- 三、體操
- 四、談話

一、唱歌は體育の箇所でも申述べましたが又智力の方面にも種々益する事が多いので御座います。子供が不知不識の間に色々な智識を得ますが、其の歌詞によりて、高尚な智識を得て、將來を益する事が多いので御座います。

子供の時はよいもわるいも素より考なく只人真似をして言ふので御座いますが、其の中でも

歌詞も撰擇しなければなりません、どうか節のおもしろいのがありたい物と思ひます、節おもしろくやさしく歌つて居ますと、つい覺えるので御座います。

それには俗語もづいぶんありますが又極卑劣な事柄で殆んど教育上有害な言葉があります。

「いやならよしやれ。よしべの子になれ。ペンペン弾くなら。藝者の子になれ。」

右は無論よくない事柄で御座いますが、子供はモ一何も分らず只調子を合せて人に負けじと三歳になる子まで、まわらぬ口でしやべつて居ります。

節おもしろい唱歌を盛に現はしますれば、右の様な卑近な事柄も自然廢れ行くので御座います。うがソレが中々一度覺えたらばとまららないので御座います、兄がやれば弟もやる、姉がやれば妹もやるといふ様な調子で毎日叱られながら中にやめる事が出来ませんのには開口いたします鳩ボウく鳩ボウくとか、一寸法師とか、大江山とかの様なおもしろい唱歌がモット澤山に

出來ればよろしいにと存じます。

二、遊戯も色々やつて見ますが、ドーも四五人でやるのに適當して子供がおもしろいなと心酔してやる様な材料に乏しいので、きまつた遊戯よりか自由遊戯をやらして置く方が、全程愉快に見受けられます。

三、體操も時々やりますが、餘り澤山はやりません、此二三の項は體育の方が重いので御座いますから、別に茲にはのべません。

四、談話 之は皆様も御存じの、子供の智識開發の好材料として、世上に歡迎される、事です、唯の元帥たる巖谷氏が如何に世人の歡迎厚きかを見て子供に大切な事柄であるとうなづかれるので御座います。一小士官より身を起して帝位に登り、歐洲全土を震駭せしめたる佛帝ナポレオン、の幼兒を讀む人は、誰れもかも偉人の生涯の其種子は、か弱き母親か訓話及び談話が預りて力があつた、事を悟らるゝ事で御座いませう其の他かゝる類例は外に澤山ある事で御座いませうから、世の我が子を愛育さるゝ母達は如何

に注意をこゝに拂つて居られますか私わたくしの淺き經驗によりますと大要次の様にいたして居ります。

談話だんわの材料ざいりやうは成丈子供なるたけこどもがおもしろいと喜んでしかも心身しんしんの害がいにならぬものでなければなりません。其の中で、子供はなるべく恐はくつて凄すこい様なのを好む風かぜがあります。たとへば安達ヶ原あだちがはらの鬼おにとか羅生門らせいもんの様なのを大層好みますが又義經よしきよ秀吉ひでよしの話などもおもしろがります。

或は夜癡あやひひらにつく時末子ときすえこに添乳そでちしながら、或は晝あるひひらは縫物ぬいものをしながら、話はなしきかせるので御座ございます。すが、談はなしにだんだん身みが入いりますと、裁縫さいほうも何もソツチ退ひけで手てまねし口くちまねして話はなします、子供こどもはモー一いち生懸命目しやうけんめいめを見みはつて聞いて居ゐります。しかしし餘あまり幼少わうせうな三歳さんさいの子こは未だ談話だんわに面白おもしろみを持ちもちませんが、四歳よんさいになりますのは時々ときどきネダリます。其の時そのとき

おばーさんとおぢーさんがあつて、おぢーさんはねお山おやまに柴刈しばかりに行いきました、おばーさんは河かほに……と談はなして居ゐりますと

おぢーさんは山やまにはいかり(便所)に行いきましたとて子供こどもにませつかへされて大人おとなも一緒に大笑おほはらひする事も御座ございます。時に取とつての感興かんきやうで常に家庭かていが晴々ははくはくといたしま

す。餘あまりに滅入めつにる様な談話だんわの材料ざいりやうは常に避まけますが或日あるひ試しみに孝女かうにょ白菊はくきくの話はなしをして聞かせますと、七歳しちさいと九歳くさうさいの二兒にじはたい大層たいそうおもしろがります。其の次つぎを次つぎをとせがみます餘あまりこんな材料ざいりやうの話はなしを度々たびたびする事は或は考物あまひかんがへものであらと、存ぞんじます。會々あひあひかゝる事ことを聞かせても、害がいはなからうと存ぞんじます。

それからこれは餘あまりおもしろい材料ざいりやうでは御座ございませんが子供こどもに衛生思想えいせいしきやうを開發かいはつする様な談話だんわを時々ときどきしてやります。一體たいい日本人にほんじんは一般いぱんに衛生思想えいせいしきやうが薄うすいかと思おもはれます。自分おのれの身體しんたいが垢あかの爲ために不快くわいを感じても、其その原因げんいんを調しらべて之これを避まけ様ようとせず、或は常あまひつねに胃痛いづつうを訴うへても、其その胃いの養やう生せいをするでなく、腦なうのわるいのを知しりながら之これを治なせんと自らみづかつとむる事ことをなさず、只一ただも二ふた

もなく醫力をかり甚しきは神に祈ることも御座います。何等の迷信で御座いませうか、平素常に心の修養の助けとか何とかの爲めに神に祈るはよろしいが、病氣になつたからとて神に祈つたとして何で神様がおなほしなさりませう、それよりか、平素衛生に氣をつけて、出來得る限り自分で自分の身體を丈夫にする様にとめるやう、教育するのが肝要で御座います。私はよくお預りして居る中學時代の生徒にさへ自己の健康を増進する事をつとめずに唯弱い／＼とこぼして悪くなれば醫療にのみ托するの生徒を見て、切に幼時より子供に衛生思想を鼓吹する事が大事であると感するので御座います。

それで私は毎日温浴させる時は大きな兒は何でシャボンで洗へばよいのか垢すりをかけるとか聞きます時、時こそ來れと機をはづさす。

よく奇麗に皮膚を洗はないと、其面に無數の孔があつて、體内の汚ないものが分泌して居るのを止めますとか。或は肺臓がこゝでそれはこんな事をするとか、極簡單に子供の辨へ

らる、事丈話して聞かせます、かくして身體の大切な事、如何に賢い子供でも、其健康を書しては將來お國の爲になる様な人にはなれない事など、手をかへ品をかへて、悟る様につとめます。

私はよく六歳や七歳の幼兒に入湯させて矢鱈白粉をつけてやらる、親御を見る事があります、そんな事をして虚榮の根を植ゑ付ける、よりか衛生思想の一つも與へて心身の健全を圖る方が其の子將來の爲ではあるまいかと存じます、他事ながら談話につきてこゝに一言してをきます。

## マニラの話

### 小寺みさを

氣候 フイリツピン群島は熱帯の内にありますから何處へ行つても只々御暑いばかりで少しも寒さを感じるといふ事は御座いませぬ、私はマニラ